

たけた

市議会だより

No.17 発行 平成21年11月1日

編集 市議会だより編集委員会 ☎0974-63-4813 印刷 (有)岡鶴堂



シリーズ 若者

〔ボルダリング〕

祝 国体入賞 荒巻泰裕君、渡邊祐介君

山岳競技少年男子 ボルダリング6位、リード7位
10月3日～5日、新潟県上越市にて開催された「トキめき新潟国民体育大会」にて、大分県代表として見事入賞されました。

〔リード〕

(団体で入賞された方を取り上げています)

〔不易流行〕

― 9月議会・臨時議会を
ふりかえって ―

前号を発行し、今号を編集する間に政権交代がありました。

議員として6月頃は前政権が決めた15兆円の補正予算に関心があり、新政権発足後は「子供手当」や「後期高齢者医療制度」がどうなるかに注目していました。新政権のマニフェストと財源の問題が毎日のようにニュースに取り上げられますが、竹田市議会でも、前政権が決めた補正予算の約7億円が審議され、また鳩山発言で全国的に注目される「大蘇ダム」問題も取り上げられました。

この状況は時代が変る前の産みの苦しみでしょうが、そんな祈りに次の言葉を思い出しました。

〔不易流行〕

不易とは「人の心や社会の隆替まで世の中の森羅万象を司る不変の法則、時をこえた心理」。

流行とは「時代性や環境条件により時に法則を打破するさまざまな変化」です。

新政権には「流行」で終らず、真に国民の為の「不易」となる議論を望むところです。

何が不易で何が流行か。時代が変わっても、まちづくりなどあらゆる分野に必要な考え方ではないでしょうか。

(編集委員長 井 英昭)

平成21年第3回定例会 一般質問

9月定例会は、9月7日から25日までの19日間の日程で開かれました。9月9日、10日は、10人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。

なお、原稿は議員本人が執筆しています。



和田 幸生 議員

災害復旧対策について

和田 8月10日旧竹田市東部地区をおそった豪雨は、片ヶ瀬の国道被害をはじめ市道、耕地の損害は計り知れない。

耕地の被害を受けた農家は激甚指定でなければ復旧はできないと言っている。是非激甚指定されるようお願いする。

農林整備課長 8月10日の台風9号は西日本を中心に記録的な豪雨をもたらし国道502号では車8台をまきこんだ。県下の状況では、竹田市、豊後大野市の2市のみで380件、

5億9,800万円となっている。激甚災害の指定に向けて、9月4日知事に要望書を提出した。今後も激甚指定に向け活動する。

緊急車両の通行について

和田 緊急車両通行不能地区はすべて改善されたのか。

建設課長 市道中2.5m以下が約5%ある。一部不良箇所があるため今後離合場所設置や竹木の伐採を行っていく。

高齢者対策について

和田 高齢者の通院や買物等の交通手段について考えがあれば。

市長 竹田市の高齢化率は39.17%で全国第4位となっている。今後は路線バスも廃止が多く

なるため、今年の12月から試行的に3月までデマンド運行を南部地区で行い検討していく。



10人乗ワゴン車2台を購入し、デマンド運行が試行される

消防力の確保について

和田 消防団員が昼間市外での勤務者が多くなり、消防力の不足するのではないか。今後女性消防団員の採用や、団OB再入団または消防応援隊を考

えてはどうか。
消防長 団幹部会で応援隊については検討した。各方面隊ごとに考える。団OBについては現在も行っている。
女性消防団員については検討していない。

《議案の審議結果》

第6回臨時会（平成21年7月22日）

▽竹田市ケーブルネットワーク施設条例の一部改正について

第7回臨時会（平成21年8月17日）

▽平成21年度竹田市一般会計補正予算（第3号）について

▽工事請負契約の締結について

第3回定例会（平成21年9月7日～9月25日）

▽平成21年度竹田市一般会計補正予算（第4号）について

▽平成21年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

▽平成21年度竹田市老人保健特別会計補正予算（第1号）について

▽平成21年度竹田介護保険特別会計補正予算（第1号）について

▽平成21年度竹田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

▽平成21年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

▽平成21年度竹田市長湯観光温泉施設等特別会計補正予算（第1号）について

▽平成21年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）について

▽平成21年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について

▽平成21年度竹田市水道事業特別会計補正予算（第2号）について

▽平成21年度竹田市水道事業特別会計補正予算（第2号）について

▽竹田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

▽竹田市基金条例の一部改正について

▽竹田市分担金徴収条例の一部改正について

▽竹田市農村公園条例の一部改正について

▽竹田市立中学校設置条例等の一部改正について

▽竹田市公民館条例の一部改正について

▽平成20年度竹田市水道事業会計決算の認定について

▽人権擁護委員候補者の推薦について

▽平成21年度竹田市一般会計補正予算（第5号）について

▽平成21年度竹田市立子ども診療所特別会計予算について

▽平成21年度竹田市立子ども診療所設置条例の制定について

▽平成20年度竹田市一般会計歳入歳出決算の認定について

▽平成20年度竹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

について

可決

可決

可決

可決

可決

可決

継続審査

継続審査

適任

認定

可決



徳永 信二 議員

ケーブルネットワーク施設整備事業について

徳永 加入促進状況と今後の対応は。

ケーブルネットワーク推進室長 9月8日現在、旧竹田50.6%、萩地区68.1%、久住地区65.2%、直入地区87.2%、全体で58.2%である。今後各地域で本部会議を開き推進していく。

徳永 IP電話の広域利用として豊後大野市との提携はできないか。

農業集落排水について

徳永 現在の加入率と今後の対応は。

建築課長 8月31日現在萩地区60.5%、久住地区60%である。今後自治会に出向き使用料のしくみと加入の必要性につ

いて説明をする。また料金体制について住民の意見を聞きながら検討する。

大蘇ダムについて

徳永 市としての今後の対応は。

市長 九州農政局の今後の対応を10月1日に県と共に聞きに行く。市としては完璧なダムを今後も要求する。できないのなら負担金は払わない。また、今後の追加予算については一切拒否する。

徳永 水を活用した農業振興は。 **市長** 土地の特性を生かし、量販共販の基礎を整え、この地域でしかできないという農業振興を考える。今後は地域と充分に話し合い、県とも協議しながら万全な体制を整える。



1日に10センチずつ水漏れする大蘇ダム、10月21日市長が農水省へ

地域福祉事業について

徳永 福祉事業所の現在の状況は。

保険課長 特別養護老人ホームは3施設181名、介護老人保健施設は2施設153名、グループホームは5施設53名で満杯の状況。待機待ちは各施設に重複しているが、約333名である。

徳永 萩地域にグループホームの設置は考えられないか。

保険課長 平成22年度までに2ユニット18名の計画をしている。



加藤 正義 議員

子育て支援について

加藤 竹田市における平成19年の合計特殊出生率は1.93%と県内でトップ。これは小児科医の常勤体制と県内唯一の無料予防接種、5歳児健診など子育て支援環境によるものと思う。しかし現在小児科医の診療は月1度で、市民の不安は解消されていない。どう解決するのか。

▽平成20年度竹田市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
継続審査

▽平成20年度竹田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
継続審査

▽平成20年度竹田市同和对策事業特別会計歳入歳出決算の認定について
継続審査

▽平成20年度竹田市国民宿舍久住高原荘事業特別会計歳入歳出決算の認定について
継続審査

▽平成20年度竹田市国民宿舍直入荘事業特別会計歳入歳出決算の認定について
継続審査

▽平成20年度竹市長湯観光温泉施設等特別会計歳入歳出決算の認定について
継続審査

▽平成20年度竹田市畜産開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について
継続審査

▽平成20年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について
継続審査

▽平成20年度竹田市温泉施設花水月特別会計歳入歳出決算の認定について
継続審査

▽平成20年度竹田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
継続審査

▽平成20年度竹田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
継続審査

▽平成20年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)について
採択

▽平成20年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について
採択

《請願・陳情の審査結果》

▽菅生地区内国道57号線沿いの「道の駅」誘致に関する請願

採択

▽市道「桜瀬―釜土線」の整備に関する請願

採択

▽市費負担教員配置に関する請願

採択

▽国民宿舍直入荘の存続についての陳情

採択

第8回臨時会(平成21年10月13日)

▽平成21年度竹田市一般会計補正予算(第6号)について

可決

▽平成21年度竹市長湯観光温泉施設等特別会計補正予算(第2号)について

可決

▽平成21年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)について

可決

▽平成21年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について

可決

▽平成21年度竹田市水道事業会計補正予算(第3号)について

可決

▽指定管理者の指定に関する件について

可決

▽動産の買入れについて

可決

市長 小児科医常勤については大分大学、県や医師会などと協議を重ね、昨日県知事に面会、支援を頂き、市立こども診療所を開設することとした。11月開設を目指し、場所・予算は近く提案する。



11/2にオープンする
竹田市立こども診療所(竹田市山手)

加藤 放課後児童クラブの現状と課題は。

福祉事務所長 8カ所で、212名の児童が在籍。概ね10歳未満が対象で幼稚園児は対象外だが、市の単独事業として受け入れている。

加藤 子どもは社会の宝、未来である。その子どもの医療費を中学卒業まで無料化を。

市長 市の国保税も県内2位と医療費が高い。国策での対応を市長会等で反映したい。市としてもどう可能な道があるのか、積極的に検討したい。

環境行政について

加藤 環境こそ竹田市は優等生であるが、地球温暖化の被害は様におおむる。一、二度上げれば、洪水の被害が拡大、農産物、森林に打撃を与えると警告されている。環境行政の基本方針は。

市長 財政難であるが、市民生活に直結する廃棄物対策、生活インフラの整備など生活環境、自然保全に、また、リサイクルセンター建設も視野に入れ、取り組んでいく。

加藤 清掃センターリサイクル施設建設の現状は。
環境衛生課長 建設実施計画に基づいて、発注の準備をしている段階である。



岩屋 千利 議員

畜産の振興について

岩屋 畜産農家の所得向上は。

市長 豊後牛のブランド化を図る為、関係者と協議している。

岩屋 肥育体制の確立は。
市長 協議機関を立ち上げた。

設備費の25%は事業者負担となるため、県を通じ農業団体に働きかけている。



11月中旬「竹田市肉用牛生産振興プロジェクト外会議」設立予定

誘致企業の振興策について

岩屋 誘致企業(川崎重工)へ雇用の確保と保有遊休地の宅地開発等への働きかけは。

市長 立地条件も良く、宅地開発等を行えば多大な効果が期待できる。既存の施設の安定雇用と合わせて申し入れをしたい。

観光の振興施策について

岩屋 湯の原中村線の改良及び長湯ダムの堆積土砂の除去は。
直入支所長 新市の改良計画路線であり、地域の活性化を図

る上からも早期整備に努力したい。堆積土砂は県が調査中であり、除去等の働きかけをする。

岩屋 長湯温泉に隣接する丘陵地帯へ新たな道路の開設は。

直入支所長 長湯バイパスの沿線活用は地形上困難と思われる、同地に道路を造れば民間活力の導入等大きな相乗効果が期待できる。財政負担の少ない方法で開設に向け調査をしたい。

農村回帰宣言市の取り組みについて

岩屋 転出者対策とふるさと納税制度の活用は。

企画情報課長 地域ごとに転出者を把握し交流を深めていくことが大切で、市は地域と連携してふるさと納税制度を正しく理解していただくため、市報やホームページ、ケーブルネットワークを通じ情報を提供していきたい。

岩屋 新規就農者の取得面積は。農業委員会事務局長 農地法が改正され面積の引き下げが可能となった。

市長 50アールの下限面積は厳しいとの声もあり、竹田らしさが出せるよう働きかけたい。



阿部 雅彦 議員

「健康福祉交流」を目的とした花水月の再生について

阿部 高齢者を中心に健康増進を図り、医療費を削減するための具体的な施設の活用方法は。

市長 花水月の充実した施設をうまく活用して高齢者の健康増進を図るため、庁内プロジェクトを立ち上げ検討中である。健康増進課・生涯学習課・福祉事務所の専門分野での活用法の検討資料の構築ができれば、次第市民の皆様説明したい。



再生庁内プロジェクト会議で検討されている花水月の活用

場としての施設の改善や活用は。市長 多くの市民が利用でき乗る合いタクシー等市独自の交通体系の整備及び市の支所機能や観光客の皆様にも喜んでいただけるスペースの充実を考えた。

竹田市地質の特性を考えた土砂災害防止と自然遺産を守る取り組みについて

阿部 阿蘇火山噴火物で造られた竹田市は土砂災害の危険性が高いが備えの取り組みは。建設課長 一番多い急傾斜崩壊危険箇所を整備をはじめ対処工事を進めている。ハザードマップ(災害予測地図)やケーブルネットワーク事業を生かし、防災意識の高揚や土砂災害防止に取り組みたい。

阿部 地質百選に認定された竹田の地質資源の保存・活用は。文化財課長 地層の分布や地質構造の実態調査をしたい。また、代表的な地層の保存・活用方法を策定して竹田市文化財保護調査委員会に諮問したい。

新型インフルエンザ予防対策について

阿部 市内小・中学校における

感染の現状及び今後の予防措置についての取り組みは。学校教育課長 教育委員会としては感染の現状を踏まえ、市や県の関係機関と連携を取り合っただけ対応していきたい。



渡辺 克己 議員

農業基盤整備事業の推進について

渡辺 昭和51年度から「生産性の向上、効率的・安定的な農業経営の確立」を目標にほ場整備事業が実施されたが、その整備率は県平均で73・2%、竹田市では67・1%、旧竹田市においては56・4%と極めて低い状況にある。地域農業が生き残るため、基盤の整備が必要不可欠と思われるがその推進について。

農林整備課長 引き続き推進する。

渡辺 ほ場整備事業の補完事業としての総合整備事業が市内全域で実施されようとしているが、農業法人が設立され営農範囲が広がった宮砥、姫岳、入田地区を二つの営農区域と

らえ、「竹田南部地区」とし、農業基盤整備、生活環境整備にも対応できる総合整備事業の実施ができないか。農林整備課長 地元の要望調査を実施したい。



ほ場整備されている下坂田東地区

ケーブルネットワーク事業について

渡辺 事業目的のうち、特に「高速大容量通信網の整備」の推進を図るためインターネットの加入者に対して利用料に補助金を出してはどうか。

市長 加入者が確定した段階で検討の必要があると思う。

農村回帰宣言市について

渡辺 7月の人事異動後の取り組み状況について。

企画情報課長 庁内に五つの専門部会を立ち上げ、情報発信等検討中である。

渡辺 「竹田市空家バンク設置要綱」の位置づけと、本所と支所の役割分担はどうか。

市長 「竹田市空家バンク設置要綱」を受け皿とし空家情報の見直しと充実を図る。また、民間人を定住アドバイザーとし定住への助言をしよう。本所と支所は並列して、それぞれの地域で定住促進をする。



本田 忠 議員

観光と道の駅構想について

本田 平成8年に大分県で3番目にスタートした道の駅竹田は、13年目を迎えている。会員も680名と拡大し、販売所の確保・改修が急務と考えるが。

市長 道の駅ができて以来好成績で推移している。会員数も増加し店の品揃えやスタッフの応対も素晴らしい。観光動線を持った地域での道の駅の拡充・増設が必要であると考えている。

本田 農産物加工所の増改築は。市長 今理事会で検討している。「面積を拡張して」との要望が寄せられている。この際、重点的に整備していきたい。

本田 いちご狩りのシーズンには4千人もの観光客が来るわくわく農園にトイレがないが。市長 生産現場を身近で見られるいちご農園にトイレは必要である。

本田 道の駅新規計画は。市長 T O P懇談会で松本地区、菅生地区の農家の皆さんから「是非自分たちの所に道の駅を整備して」との要望をいただいた。2年後の熊本新幹線の開通に合わせて、竹田市の西の玄関口として、この地域に是非とも道の駅を整備したい。



拡充・増設が必要な道の駅

教育のまはつくり

本田 総合的教育のまちづくりとは。

教育長 教育の分野には、学校教育や社会教育等があり、それぞれの分野で「知」「徳」「体」の力を伸ばし、信頼できる人間関係を構築しながら、市に関わる文化を共有し発展させることが、総合的な教育につながる。

本田 竹田市には稲葉学園竹田南高校がある。生徒130名中100名が市外から来ており、その生活に関わる支出総額は年間2億円超となっている。学校教育の充実に市としても協力をお願いしたい。



渡辺龍太郎 議員

平成20年度行財政改革の進捗について

渡辺 20年度節減目標額は達成できたのか。基金や地方債残高は改善の方向にあるのか。

総務課長 20年度目標額11億8千5百万円を達成する見込

みで、5カ年合計目標額43億8千9百万円以上を達成できると推計している。基金の枯渇も当初推計の20年度から23年度以降に繰り延べる事ができ、それなりの効果を得たと考えている。

財政課長 地方債残高は、19年度末約22.6億、20年度末約21.5億で約1億減少する。しかし、20年度繰り越し事業約12億と、21年度発行分約27億を加え、21年度償還分約24億を差し引くと、21年度末で約23.0億円余りとなる。この状況は、起債の償還額より借入額が多くなる「プライマリーバランス」が赤字となる。今後は、事業の選択、集中により起債の借り入れを抑制していく必要がある。

渡辺 依然財政は、苦しい状況にあると思うが、行財政改革と市長が考える政策の実行には資金も必要と考えられる。そのバランスはどのように取って行くのか。

市長 これまでの量の改革から質の改革方針を打ち出したい。画一的に数字調整だけの改革を行うと、地域の総合力が落ちてくる。この事に目を向けながら竹田市の独創的な行財政改革を推進するべきである。大切なのは、いかに先を読むか、過去を

しっかり分析し、加えていかにメリハリを付けるかという点に重点を置きたいと考えている。後世に利益を生み出す政策を厳選して皆さん方の声を反映させながら、それを政策化していく力量こそが今、行政に求められている。その思いをもってすべての行財政改革に取り組んでいく決意。



井 英昭 議員

NPO法人に対する市民税減税について

井 市では特定非営利活動法人(以下、NPO法人)をどう受けとめているか。

企画情報課長 社会経済情勢が変化する中で、NPO法人、市民が主体的に行動するまちづくりの担い手として期待している。

井 市内にはNPO法人が10団体あり、行政の手の届かない分野で活躍している。全国的に行政は事業費抑制のため、安易にNPO法人を委託先に考え



議員陸上

議員陸上監督
坂梨宏之進

繁忙な議員活動の合間をぬっての練習、本命選手の事故などで一時は困惑したが、そこは「しんけんまんけん」の議員の方々。400mリレーではなんと第5位。竹田市議会はまだまだ元気だ。そして今年も出ましたあの声援「3番走者、サイドブレーキをはずせ!」あれ?3番走者って誰だっけ。

議員ふんとら記

第62回県民体育大会を終えて

議員ソフトボール

議員ソフト監督
吉竹 悟

残暑厳しい中、戦いは野口原球場で行われた。対戦相手は、18年に敗戦した隣の豊後大野市だった。練習時間も僅か、メンバーの揃ったのも1回…結果は、大敗! 玉来チームの胸を借りたのに、申し訳ない。次回にリベンジを誓う。



る傾向があるが、常に質の高い仕事をしている。しかし、少ない事業費でやりくりする法人には5万円の法人市民税が非常に重い。そこで市民税を減免し、NPO法人の数を増やすことにより主体的な市民活動の呼び水としてはどうか。

井 収益事業を行っている場合、地方税法上の問題がなく、実際に千葉県我孫子市では平成13年から「自治体の裁量権」に基づいて減免している。竹田市でもしっかり研究してほしい。市民と行政の真の「協働」が実現しやすいように要望する。

井 新しいこの制度はどのようなものか。

新地方公会計制度について

財政課長 発生主義、複式簿記の考え方に基づき、2009年度中に自治体は前年度決算分について連結ベースで「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「純資産変動計算書」、「資金収支計算書」の整備が求められ

るようになった。
井 夕張市の破綻以降、自治体の情報開示が重要になってきた。職員のコスト意識と市民の財政感覚の両方が向上するようにこの制度を活かしてほしい。

る国保にするため頑張ることを求める。
河野 睦が残っていると対象にならないのか。
農林整備課長 睦が残っていると保水機能があるとして法面の崩壊は対象にならない。
河野 復旧支援に対する要件緩和が必要ではないか。国・県に法令改正を求めるよう要求する。



河野 泰浩 議員

集中豪雨について



8/10台風9号による片ヶ瀬での土砂崩れ

河野 8月10日の集中豪雨の被害状況は。

農林整備課長 被害件数160件、2億3,800万円で、申請は120件、1億6,750万円となっている。

河野 滞納者の納税相談は。発生した場合は、そのつど相談に応じている。保険証交付を7月にしているが、1年以上納付のない人等には窓口交付をして、今年20人から相談を受けている。今後の納付計画を話し合った後に「短期保険証」を交付している。

国民健康保険税について

河野 滞納額の大きさをどう思うか。

市長 3億という大きな額に憂慮している。19年後半からの経済の落ち込みで低所得者に影響が大きい。社会的な経済の復活を望む。真面目に納付している人に申し訳ない。今県から応援の職員が派遣されている。一生懸命滞納整理にあたりたい。

河野 払いたくても払えないのが実態。安心して医者にかかれ

る国保にするため頑張ることを求める。

TOP懇談会について

河野 TOP懇談会の評価は。
市長 多くの市民の参加があり、市民との距離が縮まった。

視察研修報告

社会文教常任委員会 委員長 渡辺 龍太郎



岩手県遠野市

助産院「ねっとゆりかご」研修

岩手県遠野市、人口3万1,187人、合計特殊出生率1.84。2002年4月に、県立遠野病院産婦人科病棟が閉鎖され、市内で分娩できる施設がなくなった。分娩をするためには隣接の市に自家用車で平均60分かけて行かなければならない。妊婦は、妊娠から出産まで平均16回の健診が必要といわれている。



モバイル遠隔妊婦健診を主軸とした医療機関とのネットワークの構築について研修

る。健診のたびに往復2時間以上かかることは、妊婦にとって身体的、精神的不安や、経済的不安の材料となる。
このような現状打破のため、2006年、産婦人科医の小

苦情よりも建設的な意見が多かった。市民の声を聞く大切さを再認識した。
河野 ケーブルの意見も30件あった。今後もよく説明して、決して無理な推進はしないように。



白河市リサイクルセンターで説明を受ける一行

笠原敏治医師が提唱した、遠隔地におけるモバイル胎児心拍伝送装置を使用した「妊婦管理実証事業」がスタートとなった。モバイル胎児心拍伝送装置とは、胎児心拍情報を、通信ネットワークを介して医療機関・医師のパソコンや携帯電話に送る装置で、リアルタイムで遠隔地の妊婦の状態を把握する事ができる。また、これを助産師が運用する事によって、正確なデータと、助産師の診断、保健指導を行う事ができ、医師との連携のバックアップが可能となる。開設までに利用した妊婦の感想は、市内で健診が可能となり安心感がある、通院時間の負担が軽減した、身近に相談ができる。など妊婦のお産への取

組みが前向きになったと好評を得た。

2007年12月1日に公設公営の「遠野市助産院ねつとゆりかご」が開設し、現在では12医療機関とネットワークが構築され、助産院が妊婦の皆さんに、子供を産んで育てる不安の解消と、負担軽減に役立っている。岩手県も、この遠野モデル披

大のため予算計上をし、システムの充実を図っている。全国複数の地域で、システムの導入が検討されているが、竹田市もこれも診療所が開設される今、導入を検討してみる価値はある。この他、文化遺産の保存と活用(平泉町)、あつたか訪問収集事業(白河市)など意義ある研修をした。

総務常任委員会 委員長 後藤 憲幸



北海道

紋別市・名寄市・和寒町研修

去る9月29日から10月2日の間、北海道紋別市、名寄市、上川郡和寒町で行政視察研修を行った。

竹田市も高齢化の時代を迎え、買い物や病院に行くのに車の運転ができない交通弱者に対して、10人乗りのデマンド(予約制)バスを2台購入し運行しようとして、9月議会で予算化した。紋別市では、スクールバスとの

混乗実験をデマンド対応による運行でしている。こは、人口2万5千人で竹田市と同規模だが、面積は830平方kmあり竹田市の1.7倍と広い。

このため、高齢者等の交通手段を確保することが必要となり、20年度から循環バスの実証運行を行っている。さらに、23年度を目安にデマンドバス実証運行を行い、地域の安全な暮らしに結びつくよう検討している。この運行はバスの通らない路線に決められている。また、道路運送法の認可も受けて進めなければならず、バス会社との話し合いもしている。運賃も200円から300円で、区間ごとに価格設定をし、地域公共交通活性化協議会で、意見を集約し進め



和寒町で研修を受ける一行

竹田市もこうしたことを参りにしながら、喜ばれるデマンドバスの運行計画を進めていきたい。

名寄市では、議会基本条例と議会中継の状況を視察した。議会の役割が市民の付託に、応えるべき行動をとっているか、市民の意識を把握しているかを再確認するため、議会基本条例を公表し明らかにしている。竹田市においても議員の資質の向上を図るため、議会基本条例の制定が必要であると感ずる。和寒町においては、「自治会活動推進事業や、行政区の再編と自治組織化」についての研修を行った。



後藤 憲幸

最近の冬は暖かい。昔、私達が子どもの頃は、滝に行くとか氷がたくさんあった。屋根からも、大きなつららが下がっていた。今や見ることもできない。今の子ども達はつららという言葉を知っているかな。地球温暖化はここまで進んでいる。

井 英昭

ケーブル事業の加入率は当初目標を超えたが、加入率達成が目的ではない。真の目的は新しい技術を取り入れ市民生活を便利にすること。真の目的達成のため、今後は知恵を出し合おう。

足達 寛康

丹精こめて作った米、例年になく長かった梅雨、日照不足等心配されたが、ひとめぼれは平年作でまず一安心。大型台風の難をのがれ始まった稲刈り。ヒノヒカリが豊作であることを心より祈るばかり。